

平成 24 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 UMN ファーマ  
代表者名 代表取締役社長 平野 達義  
(コード：4585、東証マザーズ)  
問合せ先 取締役財務部長 橋本 裕之  
(TEL . 045 - 624 - 8341)

## 日東製薬株式会社との組換えインフルエンザ HA ワクチンの ライセンス契約締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、韓国日東製薬株式会社（英名：ILDONG Pharmaceutical Co., Ltd. 代表理事 会長：李 政治、以下「ILDONG」）と、当社が開発中の組換えインフルエンザ HA ワクチン UMN-0502、UMN-0501 及び UMN-0901（以下「本開発品」）について、韓国（以下「提携地域」）における共同開発及び独占的販売のライセンス契約を本年 12 月 28 日付で締結することにつき決議いたしましたのでお知らせいたします。

本開発品は、米国 Protein Sciences Corporation（以下「PSC」）が独自に保有する遺伝子組換え技術 Baculovirus Expression Vector System（BEVS）を用いて製造されます。UMN-0502 は、毎冬のインフルエンザ流行前に接種する季節性インフルエンザウイルスに対する予防ワクチンであり、UMN-0501 及び UMN-0901 は、それぞれ世界的大流行が懸念される H5N1 亜型及び H9N2 亜型インフルエンザウイルスに対する予防ワクチンです。当社は、本開発品について、日本、中国、韓国、台湾、香港及びシンガポールにおける独占的事業化権を有しており、日本ではアステラス製薬株式会社が UMN-0502 の第 相臨床試験及び UMN-0501 の第 相臨床試験を実施中であり、また、PSC では、既に UMN-0502（米国での呼称：FluBlok<sup>®</sup>）第 相臨床試験を終え、米国食品医薬品局（Food and Drug Administration）に対して製造販売承認の申請を行っております。

本契約に基づき、ILDONG は提携地域における本開発品の共同開発権及び独占的販売権を取得いたします。当社は、ILDONG より契約締結時の一時金及び開発進捗に応じた開発マイルストーン・ペイメントを収受いたします。また当社グループは、将来において別途合意する価格にて、ILDONG に対し原薬を供給いたします。

当社は、このたびのライセンス契約締結により、東アジア地域への展開の第一歩を踏み出します。韓国有数の製薬企業である ILDONG と提携することで、当社組換えインフルエンザ HA ワクチンの価値が向上することを期待しております。

なお、このたびのライセンス契約締結による平成 24 年 12 月期の業績予想の変更はありません。平成 25 年 12 月期における業績予想への影響につきましては、現在精査中であり、平成 24 年 12 月期の決算発表時に開示する予定であります。

【ご参考】会社概要

社名： 日東製薬株式会社 ILDONG Pharmaceutical Co., Ltd.  
本社： 大韓民国ソウル特別市瑞草区良才洞 60 番地  
代表者： 代表理事 會長 李 政治  
設立年月： 1941 年 3 月  
資本金： 250.68 億ウソ  
主な事業内容： 医薬品の開発・製造・販売

以上